

平成 27 年度第 9 回登別市教育委員会会議録

日 時 平成 27 年 12 月 24 日（木）午後 4 時 30 分

場 所 登別市民会館 2 F 小会議室

第9回 教育委員会議事日程

- 1 日 時 平成 27 年 12 月 24 日 (木) 午後 4 時 30 分
- 2 場 所 登別市民会館 2 F 小会議室
- 3 議 案 報告第 6 号 平成 27 年第 4 回登別市議会定例会一般質問について
報告第 7 号 平成 28 年度登別市教育行政執行方針について
議案第 18 号 登別市立学校学校医等表彰について
- 4 その他 1. 平成 28 年登別市成人祭について
2. 学校支援地域本部事業の文部科学大臣表彰受賞について

出席者

(教育委員 5 名)

委員長	垣 内 登紀子	委 員	森 口 達
委 員	赤 井 秀 輝	委 員	堅 田 裕
委 員	武 田 博 (教育長)		

(事務局 9 名)

教育部長	佐 藤 史 彦
教育部参与	野 崎 均
教育部次長	橋 場 太
総務グループ建築主幹	出 口 利 美
学校教育グループ総括主幹	田 中 道 郎
学校教育グループ学務主幹	櫻 井 貴 志
社会教育グループ総括主幹	安 部 直 也
図書館長	綿 貫 亨
給食センター長	小 森 仁

○垣内委員長 本日の委員の出席は5名でございますので、委員会は有効に成立していることをご報告します。

これより平成27年度第9回教育委員会を開催します。本日の議事は、報告2件、議案1件になります。それでは議事に入ります。

報告第6号「平成27年第4回登別市議会定例会一般質問について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○橋場次長 それでは説明させていただきます。

第4回定例会の一般質問は、13名の議員から質問がありました。そのうち、教育関係は5名から質問がありましたので、その内容について情報提供させていただきます。

はじめに、佐藤議員からの質問になります。

質問は、通学路安全推進協議会の取組に関して「通学路危険箇所への対応と対策」についてですが、現在把握している18か所の危険箇所は、解決済みが3か所、改良工事等の予定されているところが4か所、残り11か所は道路構造上の問題等で、当面は交通安全指導の徹底により対応すると答弁をしております。

また、「新たな危険箇所等の合同点検の実施と結果」については、毎年度各学校から報告のある箇所について、ハード・ソフトの両面で対策メニューを検討していると答弁をしております。

本年度は、報告のあった14か所について点検を行い、道路等の改良済みが2か所、通学経路の変更が1か所、危険箇所の対象外と判断したものが5か所、交通安全指導の徹底等としたものが6か所となっています。

次に「不審者・変質者の出没件数の推移」ですが、ここ5年間では年間30件程度で、出没時期は春から秋にかけての14時から19時までが多く、被害内容は痴漢行為や声掛けによる事案が、全体の約50%を占めていますと答弁しています。

「不審者等に対する日常的な取り組み」は、青色防犯パトロールカーでの通常巡回のほか、祭典や歳末における青少年指導委員等との合同パトロールに努めており、「不審者等の出没があった場合」は、各学校へ情報提供を行い児童生徒、保護者への注意喚起をお願いし、又不審者情報メールの登録者への配信、青色防犯パトロールカーでの集中的な巡回を実施していると答弁をしております。

「地域との連携による防犯対策」については、子ども110番スタディちゃんの家の設置や寄贈を受けた防犯ブザーの新入学児童への配布、町内会等による登下校時の見守りなど、地域との連携を図りながら児童生徒の安全確保に取り組んでいますと答弁をしております。

次に、井野議員からの質問になります。

「土曜授業に関する関わり方」ですが、答弁としては学校週5日制が導入された平成4年から学校・家庭・地域が連携を図り、さまざまな事業に取り組んできたことから、道教委より「土曜授業推進事業」の要請を受け26年度から取り組んでいます。

「内容」は、芸術鑑賞会や縄跳び大会、地域との避難訓練や地域清掃、合格祈願餅つき大会などとなっております。

また、「教員の勤務の振替」は、各学校において適正に処理されていると答弁しています。

次の「道徳教育」は、本年3月に学習指導要領が一部改正されましたので、30年度からの本格実施に向けて、国の動向等を見ながら慎重に準備を進めておりますと答弁して

います。

次の「教育相談の充実」は、本人や保護者、教職員に対して助言や支援、相談などを担う「不登校・いじめ等対策会議」や「ふれあいサポート懇談会」等を開催し、研修を深めるなど体制の充実に努めています。

また、不登校の子ども達の復帰のための取組として、適応指導教室や体験教室の実施などの支援体制も整えていますと答弁しています。

次の「食育」は、教育活動全体を通して総合的に推進するよう指導しており、給食センターでは地元産の食材の活用を通して、郷土愛や自然の恵みに感謝し、食べ物を大切に作る心など豊かな人間性を育てておりますと答弁しています。

次に戸井議員の質問になります。

まず「道徳が教科化される背景」ですが、25年2月「教育再生実行会議」からの教科化の提言を受け、「道徳教育の充実に関する懇談会」において、今後の改善・充実策がまとめられました。

その後、国は今年3月に「教科 道徳」に位置付ける学習指導要領の一部改正を行い、指導の充実に努めることにしました。

「30年度からの完全実施に向けた移行措置期間の対応」については、各学校に対し指導内容の変更点の確認や研修会への参加を促すとともに、「他教科等との関連」についても指導計画の作成など、完全実施に向けた準備を進めていただいております。

「評価」については、記述式の評価が望ましいと言われておりますので、校長会と研究を進めてまいりますと答弁しております。

次に木村議員の質問になります。

まず、いのちの大切さを学ぶがん教育に関して「当市独自の教材の作成、医療の専門家を招いての授業」については、各学校において学校医との連携を深め、助言や指導を通して、授業内容や教職員のがんに対する理解の推進を促しています。

また、「小中学校におけるがん教育の実施」は、小学校では保健の「病気の予防」、中学校では保健分野の「健康な生活と疾病の予防」において、がんに対する学習を進めておりますので、今後も取組の充実に努めてまいりますと答弁しています。

次の「学校における消費者教育の推進」については、児童生徒の発達段階に応じた消費者教育を推進するとともに、毎年、北海道消費者協会が主催する「消費者教育サポートセミナー学校訪問講座」を活用し、市内小中学校で出前授業を実施しています。

また、教職員については、今後も、道教委発行の「消費者教育～自立した消費者を育成するために」や北海道消費生活センターの教材等を校内研修で活用し、しっかりと取り組んでまいりますと答弁しています。

次に、村井議員の質問になります。

まず、「グローバル社会を生きる力を育む教育の少人数学級の対応」については、本市の小学校の現状として、10月1日現在で児童数が2,389名、教職員数が173名。学力の状況については、今年度の全国学力学習状況調査では、国語科は全国平均程度、算数科は全道平均程度となっております。

中学校は、生徒数1,140名、教職員数98名となっており、学力の状況については、数学科にやや課題が見られる状況となっておりますと答弁しています。

次の「学級編成基準」についてですが、小学校では国の基準によると、1年生は1学級の上限は35人、2年生以上は40人となっておりますが、北海道独自の基準により、2

年生においても 35 人としております。

中学校は、国の基準では上限が 40 人となっておりますが、道独自の基準により 1 年生は、2 学級以上の場合は 35 人学級となっております。

次の「少人数学級の課題」については、小中学校ともに学級の規模が小さい場合、一般的に「きめ細かな指導が行いやすい」、「児童・生徒相互の人間関係が深まりやすい」といった良さがある反面、「切磋琢磨する機会が少なくなりやすい」、「人間関係の固定化」といった課題も挙げられております。

教育委員会としては、コミュニケーション能力を高めたり、友だちを選べたりする環境を確保するためには、ある程度の学級規模が必要だと考えております。

次の「英語に親しむ教育」については、本市では 23 年度からの本格実施に向けて、22 年度から外国語活動を先行実施しました。

また、「教員研修の充実や教材の整備」では、子ども達が外国語に触れる環境づくりとして、ALT 2 名を配置することとし、24 年 12 月に児童を対象に行ったアンケートでは、外国語活動が「好き」と回答した児童は 80 パーセントを超えており、また、26 年 3 月には「登別市小中学校英語教育推進プログラム」を作成し、9 年間を見通した学習を進めているところです。

「小学 1 年生から 4 年生」については、推進プログラムでは、1・2 年生は英語に「ふれる・まねる」、3・4 年生は「なれる・親しむ」を目標としておりますので、全ての学校で 10 時間程度、主に生活科や総合的な学習の時間等で ALT と協力しながら行っております。

「外国語活動における課題」は、教員の指導力が挙げられますので、引き続き校内研修や道教委主催の研修会への参加を促してまいりますと答弁しています。

次の文化芸術を通じた心を育む教育に関して「本市の伝統文化、芸術を教育に生かした取り組み」については、登別三曲協会の協力をいただきながら平成 3 年より全小学校で邦楽鑑賞会を実施し、直接体験できる機会を設けています。

また、学校によっては、「駒おどり」や「熊舞」など地域の郷土文化についても取り組んでおり、地域への愛着を高めるなど豊かな人間性を育むうえでも貴重な取組であり、担い手の育成にもつながりますので、地域に協力をお願いしながら取り組んでいきたいと考えております。

次の「一流の文化芸術に触れる教育」については、毎年度文化・スポーツ振興財団により「札幌コンサート」を行っているほか、今年度は 10 月に幌別中学校での「ぐるっと美術館」や 11 月には緑陽葉中学校での「はじめての雅楽の体験」を行ったところです。今後も、子ども達の文化芸術に触れる機会の拡充を図ってまいりますと答弁しています。以上です。

○垣内委員長 この答弁内容については、事前に情報提供をいただいておりますが、皆さんから何かご意見があればお願いします。森口委員は何かありますか。

○森口委員 文化芸術に触れる教育については、札幌だと機会が多いと思いますが、市内でも 10 月と 11 月に触れる機会があつて良かったと思います。

○垣内委員長 他に意識しているところはあるのでしょうか。

○武田教育長 いつも評価をいただいているのが、道新のジュニアコンサートがありまして、毎年小学生に交代で聞いてもらっています。全道でこれ続けているところは中々無いらしいです。良い取組みですので続けていきたいと思っています。それから来年は

文楽の事業を組んでいたはずですよ。

- 佐藤部長 来年は能で、今申し込みをしているところです。
- 安部社会教育グループ総括主幹 文楽は定住自立圏の方で進めています。
- 武田教育長 子ども達は触れられるのですよね。
- 安部社会教育グループ総括主幹 専門という形ではありませんが、低料金で鑑賞できるようになっています。
- 垣内委員長 それは登別の市民会館で行われるのでしょうか。
- 武田教育長 持ち回りで当番制になっていまして、今度は登別市が当番になっています。
- 垣内委員長 ありがとうございます。赤井委員は何かありますか。
- 赤井委員 がん教育というのが今まで聞きなれないので、病気の予防ですとインフルエンザと風邪の違いについては学校でやった記憶はあるのですが、がんについて取り扱った記憶がほとんど無いので、それぞれの発達段階に合った形でやっていけばいいのかと思いました。
- 垣内委員長 低年齢のうちから自分の健康は自分で守るという教育の中での一環としてがん教育もあるということで、ここだけを特化してということではないと思います。
- 堅田委員 補足なのですが、道や室蘭市でがんの条例ができて、今度、伊達市でもできます。室蘭市では中学校にがんの出前授業を市立病院の外科の先生が行っています。早い時期から意識を持つというのは大事だと思いますが、世の中ががんを特化している気がするので、もっと命という形で教育していった方が良くと思います。
- 垣内委員長 病気の中の一つとしてということですね。他にはありますか。
- 堅田委員 少人数学級のことで、うちの子どものクラスが1学級18人です。先生の目が届くという期待もあるのですが、クラス全体の盛り上がりが少し欠けて勉強の意欲というのが停滞しているような雰囲気があるのでメリット・デメリットがあると回答を見て思いました。人間関係も一度こじれてしまうと逃げ道が無くなってしまうので気をつけなければいけないと思います。
- 垣内委員長 ありがとうございます。他にも防犯対策についてということで質問が出ていましたが、最近不審者情報がメールで配信されてくる度に悪質になっていると思います。中には不審者かどうか分からないような内容もありますが悪質化してきていますので、今のうちに解決しなければいけないと思います。地域の方が心配しているのは、不審者が各地域で起こっていること。交番に逃げ込んでも交番の無人化で誰もいないということがないと聞きますので、何か解決策がないかと思っておりました。
消費者教育についてですが、北海道消費者協会の方で出前講座を毎年どこかの学校で実施しているところですが、他の地域によっては市全体を回って出前講座を開いてもらう方法と、どこか一ヶ所の学校で消費者教育を特化した学校にするということで大きな成果を上げているという話を耳にしたことがありますので、どのような方法が良いか今後とも考えていく必要があると思いましたがこれからも継続していただきたいところです。
他にはよろしかったでしょうか。（はいの声あり）それでは報告第6号については終了させていただきます。次に報告第7号「平成28年度登別市教育行政執行方針について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。
- 野崎参与 平成28年度登別市教育行政執行方針の作成に向けて現在検討を進めている内容について報告します。
執行方針は、平成28年度の登別市の教育行政の基本的な方向と重点施策について教

育委員会の考えを明らかにするものであり、作成に当たりましては国の動向や市長部局の方針、各種基本計画のほか、平成 23 年度から平成 27 年度までの執行方針の重点項目を明らかにし検討することが大切であると考えております。まず、国の動向でございますが、文部科学省の文教関係予算のポイントによりますと、創造性を育む学校教育の推進や学校現場が抱える課題への対応、チーム学校の推進による学校の組織的な教育力の充実、教職員定数の改善、小中一貫教育推進事業などの新しい時代にふさわしい教育制度の柔軟化の推進を重点ポイントとして取り上げ、その他特別支援教育、いじめ対策、キャリア教育、ICT活用などもポイントとしてあげております。

次に平成 28 年度市政執行方針の教育委員会所管の主要施策としましては、小中学校耐震化改修事業、小中学校周辺整備事業、鷺別小学校改築事業、学校図書館司書配置事業、コミュニティスクール活動支援事業などがございます。さらに市民会議等を通して検討が進められてきました市の第 3 期基本計画第 5 章「豊かな個性と人間性を育くむまち」の中で教育と関連する施策が示されております。この計画は平成 28 年度からスタートすることから執行方針に密接に関わってくるところでございます。

以上のことを踏まえまして平成 28 年度重点項目の案でございますが、「子ども達の生きる力を育む」といたしまして、学力の向上、豊かな心の育成、読書活動、体力向上、健康教育・食育の 5 件。「地域に根ざした魅力ある学校づくり」や「青少年が健やかに地域で育つ環境づくり」としまして、特色ある教育活動、小中一貫教育、地域と共にある学校づくり、教職員の資質能力の向上、安全対策、安全教育、いじめ・不登校対応、特別指導教育、学校給食の 9 件。「生涯にわたって学び続ける社会をつくる」としまして社会教育、家庭教育、青少年健全育成の 3 件。「市民の個性ある文化活動と文化を育む」としまして、芸術文化の振興、市立図書館の 2 件。「スポーツを通して健康で活力ある生活を目指す」としまして、スポーツ振興の 1 件の計 20 件を重点項目として考えております。

今後であります、1 月の教育委員会に平成 28 年度教育行政執行方針案を提示しましてご意見をいただき、2 月の平成 28 年第 1 回市議会定例議会で提案いたします。委員の皆様には作成の概要を参考にしましてご意見をいただきたいと思っております。以上です。

○垣内委員長 ありがとうございます。ただ今の重点項目の案について皆さんからご意見はありますか。重点項目だけではわかりにくい部分があると思っておりますが、1 月の教育委員会で執行方針の提案をいただいて 2 月の議会に出すということで、その間に検討するとなりますと 21 日にお示しいただき、月末までとなるのでしょうか。もしくはその場で検討するのでしょうか。

○野崎参与 現在は概要ですが、次回には文章化したものを示したいと思っております。なるべく早くにお渡しして見ていただきまして、1 月の時に色々と教えていただければと思っております。

○垣内委員長 事前に 1 月の教育委員会の資料の中に入れていただいて、1 月の教育委員会の中で意見があれば述べさせていただく形でしょうか。

○佐藤部長 第 1 回の定例会が 2 月の下旬になると思っておりまして、その 1 週間前に議案の発送などがありますので、修正等は 2 月上旬になると思っています。

○武田教育長 1 月の教育委員会で色々と揉みながら意見をいただいて 1 月いっぱい意見固めることができればと思っております。

○垣内委員長 わかりました。そのようなスケジュールでお願いします。この件について

はよろしいでしょうか。（はいの声あり）では、報告第 7 号については終了させていただきます。

次に議案第 18 号「登別市立学校学校医等表彰について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○田中学校教育グループ総括主幹 資料は 20 ページになります。学校医等表彰の概要についてですが、まず参考の方を見ていただきたいと思います。

学校医等とありますが、学校医・学校歯科医・学校薬剤師の 3 つを想定していきまして、それぞれ 10 年、20 年、30 年の節目で表彰をしているところでございます。毎年 4 月 1 日現在で年数を換算しまして、表彰につきましては毎年 11 月か 12 月の教育委員会で議決をいただきまして、年明けに表彰状と記念品を渡しております。

今年度につきましては、学校医は鷺別小学校を担当している石原先生が 10 年、学校歯科医では鷺別中学校を担当している三國先生が同じく 10 年でこのお二方が該当し、20 年以上の方や薬剤師では今回は該当者がいませんでしたので、この 2 人に対して承認を求めるものです。以上です。

○垣内委員長 ありがとうございます。この件については、この 10 年に対する敬意を表すということですのでよろしいでしょうか。（はいの声あり）議案第 18 号については承認します。

本日の議事はすべて終了しましたが、その他情報提供がございましたらお願いします。

○安部社会教育グループ総括主幹 2 件情報提供させていただきます。

まず初めに、平成 28 年登別市成人祭についてです。今回は平成 28 年 1 月 10 日日曜日の 13 時より登別市民会館大ホールにて登別市成人祭を予定しております。今回の対象者は 548 名で、テーマは「二十歳だよ全員集合 笑顔で一歩を踏み出そう」としております。13 時から式典、13 時 30 分からアトラクションを行う予定ですので、委員の皆様にも出席いただければと思います。

もう一点は、学校支援地域本部事業の文部科学大臣表彰についてです。平成 27 年度の優れた地域の学校支援活動としまして、本市の学校支援地域本部事業の文部科学大臣表彰が決定しましたのでご報告いたします。

文部科学省では、学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体の教育力向上のため全国で行われる放課後子ども教室、学校支援地域本部、土曜日の教育活動、コミュニティスクール等地域による学校支援活動のうち、内容が特に優れている活動に対して平成 23 年度より文部科学大臣表彰を行っているものでございます。平成 27 年度の表彰団体としましては 136 団体で、北海道では本市の他に網走市と幌延町の 3 団体となっております。表彰式が 12 月 3 日に東京で行われまして、実行委員長の畑山様が出席しております。平成 28 年 1 月 28 日に報告会を兼ねた祝賀会の開催を予定しておりますので、こちらの方もご出席いただければと思います。以上です。

○垣内委員長 ありがとうございます。嬉しいニュースが紹介されました。

成人祭の出席については都合がつく限り出席をお願いします。文部科学大臣表彰についても 1 月 28 日に祝賀会を開催になりますので、こちらも日程調整をしていただければと思います。その他情報提供はありますか。（なしの声あり）

最後に 1 月の教育委員会ですが、21 日に開催となっておりますが皆様の予定は大丈夫でしょうか。（はいの声あり）

それでは 1 月 21 日の 16 時 30 分から、場所がホテル平安ということで決定させてい

ただきます。詳細については後日事務局からご案内をお願いします。

以上で本日の会議を閉会しますが、本当に 1 年間皆様におかれましてはご苦勞された
と思います。年末年始は短い期間ですが、お体と心を休めて 1 月からの仕事の活力を
養っていただければと思います。ありがとうございました。